

「こども食堂とは？」

「こども食堂」に関する明確な定義や条件はありませんが、その多くは地域の子どもや大人に食事や団らんの場を提供する活動を行っています。

こども食堂が誕生した当初のきっかけは、家庭環境の多様化により、1人で食事をする子どもや満足に食べられない子どもたちが増えていたこと。そのような状況を心配したボランティアにより、子どもたちが気兼ねなく一緒に食事をとることができるようにとの想いから、こども食堂は始まりました。

関心が高まる「こども食堂」

全国的に広がりを見せている「こども食堂」。その正確な数はわかっていませんが、現在全国で活動するこども食堂は300を超えていると言われています。

今年10月にはこども食堂に関するフォーラムが鹿児島市内で開催され、三反園知事をはじめとする行政や運営団体、福祉関係者など約350人が参加し意見交換がなされるなど、県内においても関心が高まっており、鹿屋市内でも活動が始まっています。



「広がれ、こども食堂の輪！」全国ツアー実行委員会 提供

誰でも集まれる「こども食堂」

ここ数年、「こども食堂」についてメディアなどで取り上げられる機会が増えています。こども食堂は、食事や団らんの場を提供するために定期的に開かれる食堂です。いま、ボランティアを中心にその支援の輪が広がっています。ここでは市内で活動する2つのこども食堂とその取り組みを紹介します。

誰かが集まれる食堂にはどのような人が訪れているのでしょうか。右のイラストには、様々な世代や国籍の人がこども食堂に集まって食事をしている風景が描かれています。同席した人と団らんをしたり、大人に宿題を教えてもらったり、家族以外の人との交流が自然に生まれている様子も見ることが出来ます。

実際に、現在市内で活動しているこども食堂は、対象子どもだけに限定せず、大人も来られるようにしています。誰かと一緒に食事をしたいという暮らしの人や、家事や炊事をたまには休みたい保護者なども訪れているようです。

様々な人に支えられて

こども食堂の活動は、ボランティアの人や趣旨に賛同する個人や企業からの寄付などによって支えられています。子どもと大人が、わけへだてなく一緒に食事をとれることも食堂へ、皆さんも一度足を運んでみませんか。



西原こども食堂

西原こども食堂は、円鏡福祉会・敬心会・二葉福祉会の3つの社会福祉法人が共同で運営するこども食堂で、ボランティアの協力のもと月2回開かれています。取材した日の献立は、温かいご飯と味噌汁に、肉じゃがと大根サラダといった健康的な料理。食堂には、近くに住む子どもたちのほか、親子や高齢者なども訪れます。食事には子どもたちがスタッフから勉強を学ぶ姿もあるなど、にぎやかな雰囲気です。

- 日時** 毎月第1土曜日の11:30～13:00(～平成30年3月)
毎月第1火曜日の17:00～19:00(平成30年4月～)
毎月第3火曜日の17:00～19:00
※食事提供は12:00～、18:00～
- 場所** 西原4丁目2-4(西原4丁目さくら会館)
- 参加費** 幼児～高校生:無料、大人:200円
- 連絡先** 090-9728-0640(野元代表)



「みんなで楽しく食事ができますので気軽に来てください」と語る、代表の野元かなめさん(右から2番目)と食堂の活動を支えるボランティアの皆さん。寄付などで集まった食材をもとに栄養士が献立を決めるので、バランスのよい料理が提供されます。



「今度の冬休みも食堂を開きますので、たくさんの人に集まってほしいです。中高生や大人も歓迎。ブログも公開しています」と語るのは、事務局の古里なおみさん(右)と川添順子さん(左)。ほかにも調理や受付など多くのボランティアが活躍しています。



「しいちゃん家」

しいちゃん家は、女性4人が発起人となって平成28年7月に市内で初めてできたこども食堂。夏休みや冬休みといった学校の長期休みに合わせ開かれます。

開催日は学童施設が食堂に変身。食事はバイキング形式で提供され、テーブルには集まった食材によってつくられた様々な料理が並びます。訪れた人がゆっくりご飯を食べられるような空間です。

- 開催日** 12/24(日)、1/7(日)、3/25(日)、4/1(日)、夏休み期間の毎週日曜日
- 時間** 11:30～14:00(入場は13:30まで)
- 場所** 西大手町11-20
- 参加費** 幼児:無料、小学生:100円、中高生:200円、大人:300円
- 連絡先** 080-6440-2189(事務局・古里)